

秋田県横手市とパートナーシップ協定を締結しました



去る 2 月 14 日に、秋田県横手市との間で、相互の連携・協力による横手市の地域活性化と東北大学公共政策大学院の研究・教育の推進を図るため、パートナーシップ協定を締結しました。東北大学公共政策大学院として、地方自治体との間の初めての連携協定になります。

横手市の皆様とは、平成 29 年度の公共政策ワークショップ I 「横手市介護保険事業計画の策定を通じた地域包括ケアシステムの推進方策に関する研究」をはじめとして、これまで様々な連携を行ってきました。こうした実績を踏まえ、より発展的で効果的な相互連携を推進することとし、本協定の締結に至りました。

地方都市では、人口減少、急速に進む少子高齢化への対応が喫緊の課題となっています。特に秋田県は、現状そして将来推計において、人口減少、少子高齢化が全国的に見ても顕著になっています。横手市においても、全国の地方都市の「将来の姿」を先取りした政策展開が求められていると言えます。こうした中で、本協定に基づき、横手市の地域福祉をはじめとする様々な政策分野における諸課題への対応と研究・教育を推進するため、双方にとって有意義で効果的な取組を進めていきます。